

科 目 名
英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(情報学科A)

西 田 直 美

概要・目標

大学における英語の学習目標はスピーキング力と読解力の強化にある。またコミュニケーション力はあらゆる場面で必要であるが、前期の英Iクラスでは文法と共にスピーキング力の基礎をつけることを目標にする。中高で学んだ英語で会話ができることを実感してもらいたい。

授業計画

テキストの1Unitを1レッスンで進める。リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを組み合わせ、受身でない自ら進んで参加する授業を目指す。

授業方法

各Unitの基本文法・単語をチェック。テキストと並行してプリントでリーディングの補強や、TOEICの練習問題などを行う。

評価方法

出席率・平常点・発表力・本試験等を総合的に評価する。
再試験は行わない。

教 材

Robert Hickling、本多吉彦 共著 “English Edge” 金星堂 (2,100円税別)

科 目 名
英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(情報学科B・C、機械A)

橋 本 春 男

概要・目標

外国語の学習には基礎学力の充実を図ることが最も重要である。1年次は特に既習の基礎的な知識を更に充実させることが必要である。英語 I では聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語活動のなかで特に読むこと、書くことを中心に基礎学力の充実を更に目指す。

授業計画

- ① Be 動詞
- ② 一般動詞（現在）
- ③ 一般動詞（過去）
- ④ 進行形
- ⑤ 未来形
- ⑥ 助動詞
- ⑦ 代名詞
- ⑧ 形容詞・副詞
- ⑨ 比較
- ⑩ 命令文・感嘆文

授業方法

上記の目標を達成するために、英文法テキストを用いることにした。もっぱら練習問題を通して、文法、語法、構文、音声などに慣らさせ、基礎学力の充実を図る。

評価方法

平常点を加味して定期試験の成績で評価する。
単語テストも実施し成績に加える。

教 材

教科書：佐藤哲三（他）著、English Primer 大学生の英語入門（南雲堂）

科 目 名

英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(機械B、ナノサイエンス、宇宙②)

川 野 富 昭

概要と目標

この講義は英語初級中級学習者の文法会話能力を向上させることを基本とします。それぞれの項目に応じて基本的な例文を引用し、それに対応する4技能を学習します。また、Listening 分野の副教材を併用することによって語学学習の基礎力養成を目的としています。講義には学生の積極的な演習活動を取り入れ、基本例文の暗誦等が組み込まれます。

講義計画

教 材

1. Introduction
2. Unit 1 冠詞① ……………Step 1, 2, 3
3. Unit 1 冠詞② ……………Step 4, 5, 誤文訂正
4. Unit 2 不可算名詞① ……………Step 1, 2, 3
5. Unit 2 不可算名詞② ……………Step 4, 5, 誤文訂正
6. Unit 3 比較表現① ……………Step 1, 2, 3
7. Unit 3 比較表現② ……………Step 4, 5, 誤文訂正
8. Unit 4 前置詞① ……………Step 1, 2, 3
9. Unit 4 前置詞② ……………Step 4, 5, 誤文訂正
10. Unit 5 動名詞① ……………Step 1, 2, 3
11. Unit 5 動名詞② ……………Step 4, 5, 誤文訂正
12. Unit 6 to 不定詞① ……………Step 1, 2, 3
13. Unit 6 to 不定詞② ……………Step 4, 5, 誤文訂正
14. Review Unit
15. 定期考査

講義方法

講義は学生の演習を中心とし、特に個人指導に配慮する。Listening, Speaking は副教材によって個人演習を主体とし、講義に対する緊張感を持たせる。

評価方法

演習結果に対する個人評価と小テストを総合的に判断し、定期考査60点に加える。
TOEIC 単語テストを日常的に実施し、平常点に加える。

教 材

テキスト：New Strategies for Stronger English Skills
著 者：倉田、横田、Craig Smith 他
発 行 所：KINSEIDO

科 目 名
英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(エコデザイン学科)

永 尾 悟

概 要

大学で専門科目を学ぶ際には、英語の文献に触れる機会も多いため、高校までに学習した英文法の十分な理解が必要である。本講義では既習の文法事項を復習しながら、英語の基礎的なリーディング・スキルとライティング・スキルの習得を目指す。また、学期中に合計8回の単語テストを実施し、TOEIC等の資格試験に対応できる語彙力を養成する。受講者は積極的な授業参加が求められる。

目 標

本講義の目的は、既習の文法事項を理解した上で、基礎的な英文の書き換え、平易な和文英訳、英文和訳などが出来るようになることである。

授業計画

第1回：Introduction

授業の進め方についての説明

第2回：文の成り立ち(1)

主部と述部、主語と述語動詞を理解し、基礎的な練習問題を解く。

第3回：文の成り立ち(2)

前回の学習内容を踏まえて、文の成り立ちに関する発展問題を解く。

第4回：基本時制

時制（現在、過去、未来）を理解し、練習問題を解く。

第5回：疑問文・否定文(1)

疑問文と否定文の構造を理解し、基礎的な練習問題を解く。

第6回：疑問文・否定文(2)

前回の学習内容を踏まえて、疑問文と否定文に関する発展問題を解く。

第7回：文型(1)

1文型から5文型までを理解し、基礎的な練習問題を解く。

第8回：文型(2)

前回の学習内容を踏まえて、文型に関する発展問題を解く。

第9回：完了形(1)

現在完了形を理解し、練習問題を解く。

第10回：完了形(2)

前回の学習内容を踏まえて、現在完了形に関する発展問題を解く。

第11回：助動詞(1)

助動詞を理解し、基礎的な練習問題を解く。

第12回：助動詞(2)

前回の学習内容を踏まえて、助動詞に関する発展問題を解く。

第13回：分詞(1)

分詞を理解し、基礎的な練習問題を解く。

第14回：分詞(2)

前回の学習内容を踏まえて、分詞に関する発展問題を解く。

第15回：定期試験

授業方法

授業の形式としては、まず重要事項の説明を行った上で、練習問題の解答・解説を行う。また、授業のはじめに単語テストを行う。単語テストの回数は、合計8回の予定である。

学習到達度の評価

- ① 定期試験により行う。
- ② 各単元の終了後に確認クイズを行う。学生は、模範解答を参考に自己採点し、その都度自分自身で学習の到達度を評価する。教師は、採点されたその答案を提出させ、学生の理解度をチェックしながら授業の進め方について工夫する。

評価方法

定期試験（70点）、単語テスト（20点）、課題（10点）で評価するが、提出課題、授業態度、出席状況などによって、多少の加点および減点をする。60点に満たなければ再試験を実施する。

教 材

教科書：中島最吉、今村 隆、橋本春男、西 忠温、池邊和彦、國津道雄、Peter B. Flaherty 著、*Practical English Grammar for College Students* 『大学実用英文法—改訂新版—』（成美堂）

科 目 名
英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(宇宙航空システム工学科①)

ピーター・フラハティ

概要・目標

本授業は、英語の「listening」と「speaking」を中心に学習する教育過程である。ビデオの「Sitcom」および「On-the-street interviews」のオーセンティックな英語を理解するために、段階的に学習をしながら中級程度の聞き取り技能と発言能力の向上を目指す。

授業計画

テ ー マ	内 容
1. <i>Orientation</i> :	シラバスの全体像を説明する
2. <i>Nice to meet you</i> :	紹介と挨拶
3. <i>Who's that?</i> :	国籍と職業
4. <i>How do I get there?</i> :	場所、位置、方向
5. <i>Who's this?</i> :	家族や友人の紹介
6. <i>You're late</i> :	時間、行事、招待と前置詞
7. <i>Do you like this blouse?</i> :	服、好き嫌い、複数形
8. <i>Welcome to my new apartment</i> :	住居の説明、モノの存在の there is/are
9. <i>What do you do in the morning?</i> :	毎日のできごと、回数の副詞
10. <i>What are you doing this weekend?</i> :	計画や予定と現在進行形
11. <i>Tonight I'm cooking</i> :	食材と料理法、量と数
12. <i>How was your trip?</i> :	旅行や休暇および単純完了
13. <i>She has a fever</i> :	体、病気、事故、治療、薬
14. <i>I'd like to get married</i> :	お祝いの言葉、夢と未来形
15. 期末試験 :	60分間の筆記試験

授業方法

教科書と映像に基づいて講義と演習をまじえてする。

学習到達度の確認

授業中に教員より質問し理解を促す。適宜、小テストを行い、学生に自己評価させて提出してもらう。学生の理解度をチェックしながら授業の進め方などを工夫する。

評価方法

定期試験の結果と授業態度や積極性によって平常点も加味する。60点に満たなければさらに再試験またはレポートで加点する。

教 材

教科書：*Top Notch TV, Fundamentals*
著 者：Joan Saslow, Allen Ascher
発行所：Pearson Longman

履修上の注意

予習をしていることを前提に学習を始める。遅刻・欠席をしないこと

科 目 名
英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(応用生命科学科A)

光 永 武 志

概要と目標

高校までに学習した英文法や語彙力を基礎として、英語 I では大学での専門科目を学んでいくための基本的なリーディング力やリスニング力の習得を目標とする。また、毎回小テストを実施し、TOEIC テストなどの資格試験に対応するための英語力を培う。随時、多読・多聴活動も取り入れて、英語に対する興味を喚起することも目指す。

授業計画

1. オリエンテーション
2. ~14.
テキストの内容に沿って順次進めて行く。
(詳細は1回目の授業の際に説明する。)
15. 定期試験

授業方法

基本的なリスニング力アップのための演習として、小テストを兼ねた練習問題を行う。また、テキストを使用して練習問題を解答しながら、読解力や語彙力をブラッシュ・アップする。

評価方法

定期試験 6割、小テスト・課題・出席状況などの平常点 4割で評価する。

教科書

Haruki Lee, *What's the Picture Saying?* 朝日出版社
Masami Takahashi, Noriko Itoh, Richard Powell, *English through the News Media 2009 Edition*
朝日出版社

科 目 名
英 語 I English I

1年 前期 2単位 選択
(応用生命科学科B)

西 田 直 美

概要・目標

大学における英語の学習目標はスピーキング力と読解力の強化にある。またコミュニケーション力はあらゆる場面で必要であるが、前期の英Iクラスでは文法と共にスピーキング力の基礎をつけることを目標にする。中高で学んだ英語で会話ができることを実感してもらいたい。

授業計画

テキストの1Unitを1レッスンで進める。リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを組み合わせ、受身でない自ら進んで参加する授業を目指す。

授業方法

各Unitの基本文法・単語をチェック。テキストと並行してプリントでリーディングの補強や、TOEICの練習問題などを行う。

評価方法

出席率・平常点・発表力・本試験等を総合的に評価する。
再試験は行わない。

教 材

Robert Hickling、本多吉彦 共著 “English Edge” 金星堂 (2,100円税別)